

なぜ50代男は孤立死する

ライター 橋由歩

⑤ だが、企業戦士の男性は大抵、妻に男尊女卑の関係を強いています。リ

「仕事もなく、部屋に引きこもり、ひっそりと生きている中年男性は、山ほどいると思いますよ」

遺品整理業「キーパーズ」社長の吉田太一さん(47)は、心配する。

仕事一筋で来た男ほど仕事という夕方が外れた時、一気に孤立死予備軍となる。仕事以外の仲間も、話題もないからだ。

なぜ、圧倒的に男性に多いのか。孤立死に陥りやすい、何らかのパターンはあるのか？

いくつもの孤立死の現場に立ち会い、残された部屋や遺品を見つめてきた吉田さんは語る。

「団塊世代の下の世代で、右肩上がりの経済成長を信じて疑わずにきた人たちがリストラに遭う。彼らは会社の仕事しかできず、コミュニケーション能力も乏しい。何もできない中途半端な人間だけど、プライドだけはあります」

企業という傘の下、会社に依存してきた結果、自分の力で世の中を渡る能力を手放しており、かつ、経済成長を信じていたからリスク管理もしていない。

「このまま結婚が維持できれば、孤立死には至りませ

コミュニケーション能力があるという錯覚

ストラされ、経済力のなくなつた夫に妻が我慢する必要はなく、離婚となるケースが多い。そうなれば、子どもは母親についていきます」

仕事がなくなつて離婚した男性の独り住まいは、極めて悲惨だ。すべて妻任せだつたため生活の自立度が低く、食事はカツプラーメンやコンビニ弁当。過去のプライドが邪魔をして、外に出て人に会うこともできない。

「何をしたらいいかわからない、外に出るのは面倒くさいと、どんどん社会から孤立していきます」

孤立死への道が敷かれるのだ。

「会社で会話ができていたというのは、錯覚です。共通の課題に向けたやりとりでしかない。お金のない男性をカバードできる唯一の魅力が、コミュニケーション能力です。笑いを取っていくような楽しい話ができるか、話す中身があるかどうかなのです」

東京23区では毎日10人が孤立死する。特に50代男のリスクは高い。(おわり)

※「年金では生きられない」は休載します

